

# 学校だより 麦の穂



令和5年度8・9月号 8/25 発行

富士宮市立富士根南小学校

全校児童 984人 (+2人)

電話番号 26-2522

ホームページアドレス

<http://www.fujinomiya-shizuoka.ed.jp/e-school/08fujineminami/>

夏休み中、お休みしていたブログを再開します。

2学期も毎日更新を目指します。ご覧ください。



学校教育目標

夢をもって、自ら考え 共に学ぶ子

学校経営目標

判断力を高め、笑顔・思いやりあふれる学校づくり

残暑お見舞い申し上げます。

34日間の夏休みを終え、学校に子供たちの元気な声が戻ってまいりました。

猛暑のニュースが毎日続いた今年の夏休みでしたが、大きな事故やけがの報告もなく2学期82日間のスタートを切ることができたことを大変喜ばしく思います。

夏休みの間も、新型肺炎ウイルス感染症の罹患者が増加傾向にあると報道がされていました。まだまだ安心できる状況ではありません。基本的な生活習慣を意識しながらの生活を引き続き守っていきます。保護者の皆様には、2学期も健康観察アプリLEBERでの報告をお願いいたします。

2学期も本校の教育活動に対して御理解と御協力をよろしく申し上げます。



## ■「なぜ?」「どうして?」から始まる学び 校長 風間 裕之



いちがっき しゅうぎょうしき こども

はなし

一学期の終業式で子供たちに「アリジゴクはトマトがすきか」の話をしました。

しょうがくせい はなし

こ

むら

み

す

ある小学生の話です。その子は、トマトに群がるアリを見て、「アリがトマトを好きなら、アリが好きなアリジゴクはトマトが好きなのかな。」と考えました。そこで自由研究で調べてみたそうです。結果は…アリジゴクにトマトを与えると好んで食べることを発見。当時の研究者も知らなかった大発見だったそうです。その後、本にもなったお話です。

なつやす

ふ じ ねみなみしょうがっこう

こども

ぎもん

しら

さて、この夏休み、富士根南小学校の子供たちは、疑問に感じて調べてみたことはあったでしょうか。「なぜ?」「どうして?」と思ったら、調べたり、やってみたりと次の行動に移すことは、自分の学びを自分の意志でつくるという点でとても大切なことです。これからの教育の核になる「与えられる学びから自ら求める学びへの転換」につながるからです。

富士根南小学校では、子供たちの「学びたい」につなげるため、学ぶことの意義を感じられる授業づくりに取り組んでいます。そこで教員がよく使うのは、「なぜ?」「どうして?」の言葉掛け。子供たちは、自分が考えたこと、判断したことの理由を言葉で説明することにより、自分の考えを整理・再構築し、次に何を調べればよいのか、学べばよいのかを意識するようになります。ご家庭でも、子供が自分で考えたこと、判断したことに、やさしく「なぜそう考えたの?」と問い掛けてみてください。そのやりとりが、次の価値ある学びや行動に、そして成長につながっていくことと思います。

